

記号番号

東 952

組合会提出

議案第1号

令和5年度
事業報告書

サザビーリーグ健康保険組合

第 1. 事業概況

健康保険を取り巻く情勢について

健康保険組合は現在、コロナ禍前の水準を大きく上回る医療費の伸びや、団塊の世代がすべて後期高齢者となる 2025 年を目前に控え、少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少などの課題に直面しています。さらに、コロナ後の経済活動の活発化に伴い、高齢者拠出金や足下の医療費が増加しており、現下の健康保険組合の財政は極めて厳しい状況にあり、存続自体が危ぶまれています。

そのような中、令和 6 年 12 月 2 日に迎える被保険者証の廃止とマイナ保険証への一体化は、健康保険組合にとって歴史的な転換期となります。この大きな変革に際し、健康保険組合は、これを機に医療DXを担う主要機関として役割を果たし、加入者の利便性向上や事業主へのサービス拡充に努めています。また、少子化対策の一環として、出産・子育ての安心につながる環境整備や女性の健康課題への対応にも力を注いでいます。全世代型社会保障の構築を目指し、現役世代の負担軽減と世代間の給付と負担のアンバランスの解消が求められています。

このような中、令和 6 年度健康保険組合予算早期集計において、医療費の伸びや高齢者医療拠出金の負担増により、経常収支で 6,578 億円の赤字を計上するという極めて厳しい状況となりました。将来的には賃上げによる収入増が期待されますが、令和 7 年度では団塊世代がすべて後期高齢者に移行するため、高齢者医療拠出金の負担増は避けられない状況です。そのため、健康保険組合は一層厳しい財政運営が求められ、保険料率の引き上げによる事業所の脱退や解散を検討する健康保険組合の増加が懸念されています。

このような情勢下において、当健康保険組合の令和 5 年度財政収支は、収入面では、収入の基礎となる平均標準報酬月額ならびに標準賞与額年間合計の増加により、保険料収入が増加し、当初予算に比し 107,394 千円の収入増となりました。

一方、支出面では保険給付費と高齢者医療制度への納付金を合わせた義務的費用である法定給付費は保険料収入の 80.48%、そのほか事務費、保健事業費等の支出は保険料収入の 10.54%、支出総額に対する保険料収入の比率が 91.02%となり、前年度からの繰越金を使用することなく、事務費、保健事業費等の縮減により当初予算に比し 101,243 千円の支出減となりました。

その結果、決算上では収支差引 228,272 千円の残金を計上し、決算を結了いたしました。

事業面の概要について

被保険者数は、1,192 名増加し 1,163 名減少したため 29 名の増加となり本年度末

は 4,879 名に、被扶養者数は、160 名増加し 183 名減少したため 23 名の減少となり、本年度末では 932 名に、扶養率では被保険者 1 人当たり 0.19 人で、保険給付の対象者総数は本年度末では 5,811 名となりました。

介護保険第 2 号被保険者数は、前年度末に対し 424 名増加し 274 名減少したため 150 名の増加となり、本年度末では 1,844 名となりました。

平均標準報酬月額は、本年度末で 278,830 円となり、前年度末に比べて 10,051 円 3.74%の増加（前年度 8,291 円 3.18%増加）となりました。

総標準賞与額の年間合計は、本年度は 2,920,344 千円となり、前年度に比べて 369,289 千円 14.48%の増加（前年度 435,206 千円 20.57%増加）となりました。

収入は、総額 1,725,076 千円で、このうち健康保険料収入は 1,644,998 千円収入の 95.36%、調整保険料収入は 24,855 千円収入の 1.44%、繰越金は 30,000 千円収入の 1.74%、国庫補助金収入は 17,666 千円収入の 1.02%、財政調整事業交付金は 7,058 千円収入の 0.41%、雑収入は 498 千円収入の 0.03%となりました。

支出は、総額 1,496,804 千円で、このうち保険給付に要した費用は 837,340 千円支出の 55.94%、納付金は 486,061 千円支出の 32.47%、事務費は 48,444 千円支出の 3.24%、財政調整事業拠出金は 24,826 千円支出の 1.66%、還付金は 88 千円支出の 0.01%、連合会費は 1,036 千円支出の 0.07%となりました。

また、保健事業費は 99,009 千円支出の 6.61%となり、義務化されている特定健康診査および特定保健指導、子育て支援、メンタルヘルス相談事業、データ・ヘルス計画に基づく重症化等予防対策として、被保険者ならびに被扶養者の健康診断、生活習慣病健診、人間ドックを実施し、あわせて歯科健診、前立腺がん検査、脳検査、C型肝炎ウイルス（HCV）検査、ABC検査、子宮頸がん・子宮超音波・乳房診検査を実施するとともにインフルエンザ予防接種の補助を実施いたしました。

その他、健康保険組合ホームページでの医療費通知による医療費に対する啓蒙を行うとともに、被保険者と被扶養者の健康保持に努めたところであります。